

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立地域包括支援センター白金の森 (高輪地区高齢者相談センター)						
指定管理者	社会福祉法人奉優会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託(シルバー人材センター等)	合計
職員数	12	12	0	0	0	0	0	12
	令和4年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	3							

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
総合相談件数(件)	18,845					
予防プラン作成件数(件)	4,641					
訪問件数(件)	2,738					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	66,706,221	0	0	0	0
	指定管理料(清算後)	60,976,795				
	利用料金収入	5,729,426				
	その他収入	0				
	支出	66,881,893	0	0	0	0
	職員人件費	56,701,684				
	光熱水費	1,162,738				
	修繕費	0				
	事業運営費	4,010,068				
	施設管理経費	978,403				
	その他経費	4,029,000				
差引収支額		-175,672	0	0	0	0
年度協定書で定める指定管理料		60,976,000				

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	×1	- / -
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	- / -	×1	- / -
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	- / -	×1	- / -
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					75 / 85

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	利用者の意見を事業に反映できるよう、講座等におけるアンケートの実施や予防給付の利用者に満足度調査を実施するなど、さまざまな業務改善を図りました。 職員が、計画的に研修を受講できるよう、法人内研修や所内のチームミーティングなど、学びの機会を積極的に設け、職員間で学び合う環境づくりを行いました。個人情報の取扱いについては、所内会議で研修を企画し、ルールの遵守や適正な運用に努めました。施設全体の危機管理マニュアル等を踏まえ、休日・夜間における緊急時の連絡体制を整備するとともに、法人のマニュアルに基づく感染症対応に万全を期しました。
区（施設所管課）による評価	利用者の要望を積極的に取り入れ、現行事業の改善を図っていました。次年度以降は、集約できた意見を丁寧に分析し、新規事業の提案へ繋がることを期待します。 法人本部は、人材育成に積極的で、職員のスキルアップを継続的に実施していました。総合相談件数と訪問件数は前年度実績を上回ることができました。次年度は全項目で前年度実績を上回ることができるよう、引き続き、指導していきます。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）